

長期入院しているMさんのためのICT交流のあすめ

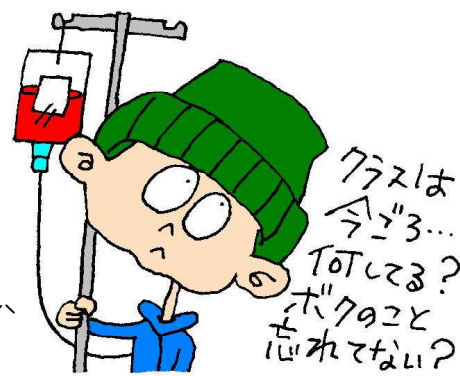
森川特別支援学校

< Web会議システムによる交流 >

はじめに (前籍校とは…入院前に在籍していた学校)

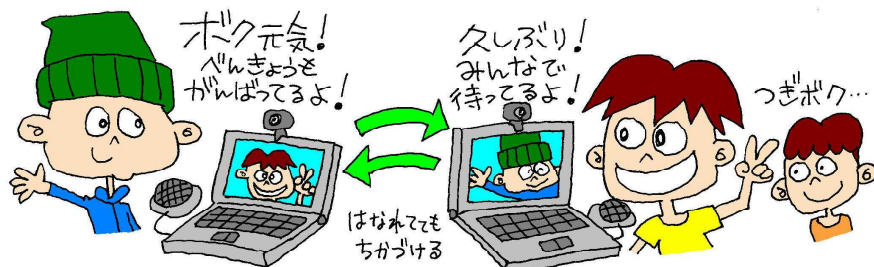
長期入院治療のため、院内学級(森川特別支援学校訪問学級)へ転学して、勉学に励むMさん(仮称)は、入院治療生活を送りながら、自分の病気のこと、家族・友人のこと、学習進捗のこと、学校・学級のことなどで、何らかの不安をかかえています。

その不安を少しでも和らげ、退院後に前籍校へスムーズに戻るためにも、院内学級ができること、前籍校の学級ができることとして、交流手段による近況報告・情報交換等が考えられます。この場合、Mさんに対しての配慮(病気や容姿に関すること等)が必要になります。



院内学級のMさんと在籍している学校・学級との交流手段

- ①前籍校側からMさんへの寄せ書き・写真・お見舞い品等の発送
- ②Mさんから在籍校側への自己アピール(作文・イラスト・作品等)の発送
- ③ビデオレターの発送
- ④手紙・メール
- ⑤電話・テレビ電話
- ⑥Web会議システムで交流(ICT交流)
- ⑦前籍校側からの面会
- ⑧退院前のMさんの「お試し登校」
- ⑨その他



ICT交流を行うには



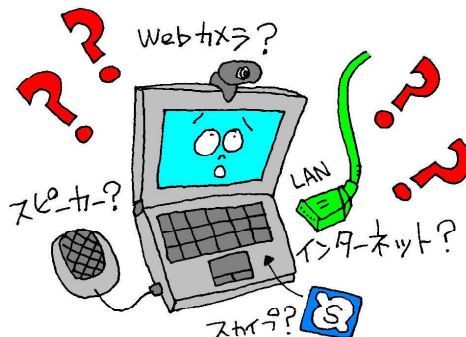
ICT交流では、院内学級のMさんと、前籍校の級友たちとが、お互いの表情を見ながら、共同学習、意見交換、歌・演奏等で、交流ができます。ICT交流は、入院治療しているMさんを元気づけ、気にしている級友たちに、Mさんの近況を知らせる効果的な方法です。

院内学級では、パソコンを導入し、Skype(スカイプ)等で Web会議による映像付の会話が可能です。主に、LANやモバイル機器を介して、Skypeを使って、ICT交流を実施しています。

前籍校側が、Skypeの接続・操作が可能であれば、即、実施できます。前籍校側が、Skypeの接続や操作が無理な場合、あるいは、機器の設備がない場合に、院内学級側(森川)から、ICT担当が機器を持参・操作して、ICT交流を実施することも可能です。

ICT交流の手順

- ①ICT交流の案内・提案(院内学級担当より)
- ②ICT交流の許可申請(森川から公文発送)
- ③ICT交流日時・交流内容・進行等の確認(両校の担任)
- ④ICT接続機器の環境調査(森川ICT担当との相談)
- ⑤ICT交流実施(当日)
- ⑥ICT交流実施後の事後調査票への記入(前籍校側)



ICT交流における配慮事項



- ①院内学級のMさんが容姿等を気にしている場合は、Mさんの姿を画面には映さず、音声だけで交流することもありますので、前籍校側は、その旨を、児童生徒へ事前に説明しておく必要があります。
- ②院内学級のMさんへの言葉遣い・質問内容として、病気や容姿に関することは、本人・保護者と十分確認し、事前に指導しておく必要があります。